

地域医療構想にかかる医療・病床懇話会の意見（概要）

開催日：令和5年1月26日 場所：浪切ホール

1 地域医療構想の推進に関する意見

【全体】

- コロナ禍において救急医療はひっ迫したため、急性期病床を減らすのは現実的でなく、病床数の必要量の見直しが必要でないか。
- 泉州二次医療圏においては、南北で医療体制の格差があり、南部地域の医療体制（急性期・高度急性期、特に救急医療）の充実が必要で、病床数は増やさない方向とされているが、医療費削減ありきで医療体制の構築はしないほしい。
- OSCR（レセプト出現比）には様々な課題もあり、これをもって地域の医療提供状況の指標とすることには注意が必要である。
- 物価高騰のおり、地域医療構想の計画に沿って実施する病院建替え等の建築費用についても、何らかの支援対策を検討していただきたい。

【府の報告基準に関する意見】

- 在院日数は変動が大きいため、基準に含める際には注意が必要ではないか。
- 昨年度までに合意し回復期として転換した病床機能が今回の基準では急性期となることに戸惑っている。
- 地域包括ケア入院料は回復期として地域急性期に含まれていると認識していた。

【その他（新興感染症対応について）】

- コロナ対応ではコロナ患者受入れ医療機関だけでなく、後方支援病院、在宅・施設との医療介護連携などアフターコロナ対応医療機関も重要であった。新興感染症についても、アフターコロナ対応医療機関を評価いただき、体制確保を検討いただきたい。

2 病院の将来プランに対する意見・質問等

（1） 公立・公的病院

●市立貝塚病院

（病院への意見） 地域包括ケア病棟については、公立病院として、民間病院にはできない取組みを重点的にお願いしたい。

（病院の回答） 周囲の病院から急性期に近いリハビリ患者を受けており、民間とは違った公立病院としての地域包括ケア病棟を運営していきたい。

（2） その他、民間病院等に対する意見・質問等

特になし。

- 3 保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を依頼することとなった病院
特になし。
- 4 重点支援区域の申請についての意見
特になし。
- 5 病床機能再編支援事業申請医療機関についての意見
特になし。